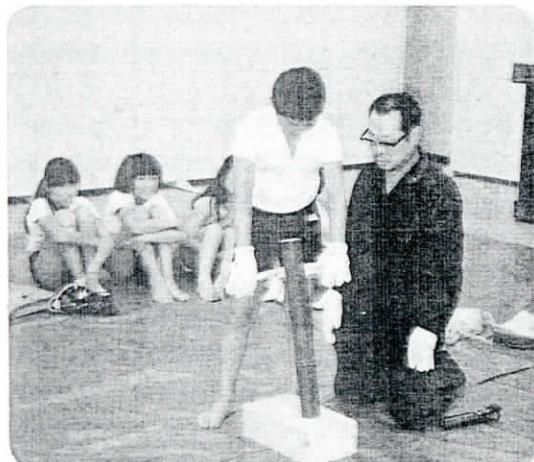


茅野市八ヶ岳通信

茅野市八ヶ岳総合博物館・美術館・尖石考古館



生竹を割って…… ↓



「上川のカモを見よう」(写真提供・南信日日新聞社)



「便利孫の手」を作る

=博物館活用指定学級=

遊・
學・
ぼう!
→
遊学教室から

博物館で



「こわしてみよう教室」自転車屋さんの手ほどきで



ところてんを「いただきまーす!」「寒天の歴史」一生寒天を天つきでついて……



博物館の学校での一層の活用を願って「博物館活用指定学級」の活動を新しく計画しました。ふだん学校の授業ではできないような、けれども身近なテーマを、博物館という教室で手を動かして体験し楽しく遊びながら学んでもらおうというものです。今年度は永明小4年1部と泉野小3年の皆さんに博物館へ「遊学」してくれました。夢中で竹を削ったり、生寒天をついたり、自転車を分解したり…。きっとみんな、この体験を大人になっても忘れないでいてくれることと思います。

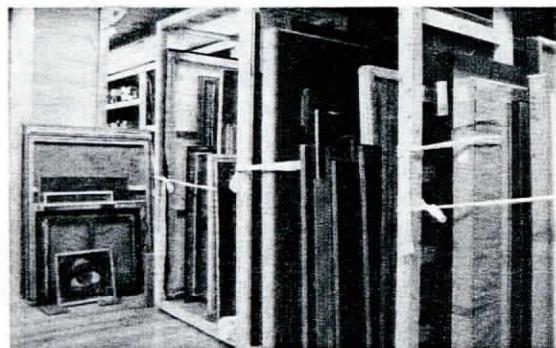
的魅力的な空間づくりの模索

去る1月10日・11日、博物館・美術館の協議会委員による合同視察を行いました。

視察地は青梅市立美術館、板橋区立郷土資料館、板橋区立美術館、伊勢原市子ども科学館の4館で、①長期展望に立った館運営②作品保管で重要な収蔵庫を中心に視察しました。

今年度、茅野市文化センターにて開催された「生涯学習フォーラム」で「文化施設は親子で気軽に行ける場であってほしい。」という意見がありました。美術館のイメージとして、静かに絵や彫刻を鑑賞する、どうも堅苦しい場所という印象が潜在的にあるようです。入館者が横ばい傾向にある当館は、新しい来館者を増やすことが課題の1つとなっています。

板橋区立美術館は区民の憩いの場「教育と文化の森」に設置されており斬新な視点とユニークな企画は以前より定評のあるところですが、対象を子どもに絞った「国際絵本原画展」は美術愛好家以外の観客が多くたと尾崎学芸員よりお聞きしました。



▲収蔵庫は展示室の半分はほしいところ！

一美術館活動の傾向一

このところ脚光を浴び始めている動きに、1つの分野にとらわれないで有機的に絡み合ったものとして提示しようという複合芸術施設が話題となっています。

専属の楽団や劇団を持ちコンサートホール、劇場、美術展示室を設置した水戸市の水戸芸術館。歴史、民俗から現代美術あるいはポスター映像までを総合した川崎市市民ミュージアムがその例です。

企画においても名古屋市美術館（昭和63年視察）のように、地下ロビー、野外庭園を会場に音楽会やパフォーマンスが盛んに行なわれています。「美術教育の普及の手段というより、1つの展示として位置づけている。」という言葉が印象的でした。当市においても、八ヶ岳総合博物館で東京ソリステンによるミュージアム・コンサートが好評を博しています。同時代性、動きのある企画が望まれ美術、音楽、文学等を融合させて他の分野をバックアップしたり、刺激しあう企画が試みられています。

世田谷美術館（昭和62年視察）では、2つの創作室よりつなぐ屋外の「創作広場」で大理石の彫刻を刻む10数名の姿が魅力的でした。収蔵品を増やすことと同等に、またそれ以上に人が集い、多くの人が参加し体験できる場（ワークショップ等）が求められています。

家族全員が揃って1日を楽しめる開放的な雰囲気づくりが、これから求められる1つの方向性であることは間違いないようです。

博物館

—みんなの感想文から—

博物館活用指定学級（永明小4年1部 35名、泉野小3年 16名）

僕は鳥の勉強をした日から、鳥が好きになりました。上川にカモがいるなんてぜんぜん知らなかったのでよかったです。 永明小 細田真仁

鳥のことがよくわかり、きょうみがもてました。またあのような場所で家人といつしょにみにいきたいなあと思います。 永明小 志水友紀

べんりまごの手を作り終わって、自分が作ったんじゃないみたいでした。とても楽しく作れました。田中先生、作り方を教えてくれてあり

がとうございました。 泉野小 立木史香

わたしはどうして泉野に馬頭かんのんがいっぱいあるか、お話をきいてわかりました。寒天の作り方もよくわかりました。もらったところてんを、寒天にしています。 泉野小 柳沢裕子

いちばん心にのこったことは、こわしてみよう教室です。グループでちからをあわせて、がんばってこわしたからです。こわした自転車のタイヤを持って帰りました。 泉野小 酒井里絵
(他にも、みんな沢山書いてくれました。)

『尖石遺跡発掘特別展』好評

前号の「博物館だより」で紹介した、尖石遺跡発掘特別展が平成2年10月16日から11月4日まで開催され、好評のうちに終了しました。この特別展は尖石遺跡をはじめとする、市内各遺跡の出土遺物を展示するにとどまらず、50年前に行なわれた尖石遺跡の発掘調査と研究を支えた多くの人々にもスポットをあて、日常の愛用品を始め、日記や書簡などを集めたものでした。その中には地元の研究者も知らなかったものが多く、考古学の研究史にも貴重な資料が提出されました。これらの資料への問合せは、いまだに続いています。

また、会期中に行なわれた特別講演会「尖石遺跡と集落研究」と映画『尖石遺跡』の上映も満席となり、地元市民の考古学に対する関心の強さがうかがえました。



『尖石遺跡』の発掘調査行なわれる

平成2年10月16日から11月2日まで、国特別史跡尖石遺跡の発掘調査が行なわれました。尖石遺跡の発掘調査は昭和27年に国特別史跡に指定された後、33号住居址の発掘が一部行なわれたものの、ほぼ38年ぶりの発掘となりました。今回の発掘調査は、用地買上げの終った尖石遺跡の整備事業計画の一環として行なわれ、今回は主に遺跡の西端がどこにあるか探ることを目的に調査が行なわれました。その結果、新しく住居址が4軒検出された他、位置のはっきりしていなかつた18号住居址の場所が明らかとなるなど、大きな成果を上げることが出来ました。現在この発掘調査の整理が考古館で行なわれています。

なお、この調査は来年度も継続して行なわれる予定です。



冬の考古館の風景から

冬の尖石考古館は標高が1070mもあり、一面は雪に覆われて真白になります。来館者の数も少なく、春から秋にかけての喧噪が信じられないほどの静けさとなります。

その考古館は今、発掘関係者20名ほどの熱気につつまれています。

春から秋にかけて発掘調査された土器や石器は、尖石考古館へ運ばれ、ブラシで洗浄が行なわれます。また、その一つ一つにどこの遺跡のどの場所から出土したのかを記入します。遺跡から出土する土器は完全な形でいることは少なく、ほとんどが割れて破片となっています。その為、遺物接合と復元・補修を行ないます。

発掘調査は遺物を整理し、考古館に展示しただけではまだ終りになりません。復元された遺物は実測図の作成・写真撮影が行なわれます。遺跡からこういう住居址と土器や石器が出ましたという発掘調査報告書の作成・出版も重要な仕事です。発掘された資料は市内だけでなく、各地の遺跡から出土した資料と比較・検討され、その時代・時期・生産地などが調べられています。また、遺跡で作成した住居址などの平面実測図や写真的整理も平行して行なわれます。この作業は翌年の春、新しい遺跡の発掘作業が始まるまで続けられます。



シリーズ 諏訪の方言

今回は植物の名前です。

ふくらんぼ・ふくろんば…ヤマホタルブクロ
うまずいこ…ギシギシ すいこ…スイバ
みねば…ツリガネニンジン えぶ…エビズル
こうれ・これえ…オオバギボウシ
でんほろっく…ヤマブキの芯 こなし…ズミ
ねんびろ…ノビル つぎいも…アマドコロ
くまんばち…クマヤナギ かとぎ…マコモ

—おらほうことば—③

ぜった…ヤマドリゼンマイ・オニゼンマイ
ちょこばな…ヒルガオ くじな…タンポポ
むぎくさ…イワノガリヤス のりで…ヌルデ
じみょうくさ…ゲンノショウコ
たかとうくさ…アキカラマツ だずま…マツ
ムシソウ えんのこ…ネコヤナギの花
ほおきのき…コゴメヒヨウタンポク

こんなことも行ないました

—平成2年度事業報告— (考): 尖石考古館、(博): 八ヶ岳総合博物館、(美): 美術館

- 5/12・13 初夏の探鳥会(於・竜神池、講師・牛山英彦・滝沢智子氏、館学芸員、参加者51名) (博)
- 5/19 ミュージアムコンサート(演奏・東京ソリステン、入場者250名) (博)
- 5/27 美術館めぐり(東山魁夷館他、講師・平林舟鶴・伊藤博子氏、参加者43名) (美)
- 6/3・10 繩文土器製作教室(講師・遠藤昭男氏、参加者30名) (考)
- 6/8~7/20 (7回) 水彩画講座(講師・山田郁夫氏、参加者21名)
- 7/10~17 第32回茅野市美術展(125点出品) (美)
- 7/21~8/7 藝科の洋画家展(I) (美)
- 7/22 八ヶ岳の植物観察会(講師・阿部義男氏、参加者46名) (博)
- 7/25~8/17 宮崎学写真展「ふくろうと伊那谷の動物たち」
- 8/23~31 移動美術館(会場・東部中学校) (美)
- 8/29・30 博物館活用指定学級「竹細工を作ろう」(講師・田中一男氏) (博)
- 9/12~21 移動美術館(会場・北部中学校) (美)
- 10/1 生涯学習フォーラム「博物館・考古館・美術館をどのように活用したらよいか」参加 (博) (考) (美)
- 10/7 繩文土器製作教室窯焼き (考)
- 10/12~25 候州ゆかりの水彩画展(県博協巡回展) (美)
- 10/14~11/3 第2回市内小中学生発明工夫展(130点出品) (博)
- 10/27 特別講演会「尖石遺跡と集落研究」(講師・戸沢充則・勅使河原彰氏) 映画「尖石遺跡」上映(参加者150名) (考)
- 10/26~11/4 尖石遺跡発掘特別展 (考)

- 10/31~11/18 第10回茅野市小中学生作品展・絵画の部(351点出品) (美)
- 11/11~30 民俗資料収蔵品展「動く道具のカラクリ(力と仕事―先人の知恵)」(博)
- 12/9~2/17 (9回) 古文書解説講座(講師・細田貴助氏、参加者30名) (博)
- 12/15・16 冬の探鳥会(於・諏訪湖畔、講師・小口妙子氏、館学芸員、参加者40名) (博)
- 12/19 博物館活用指定学級「上川のカモを見よう」(講師・館学芸員) (博)
- 1/4~1/31 浮世絵展「江戸の民俗と美をさぐる」(保科政人コレクション) (博)
- 1/17・18 博物館活用指定学級「寒天の歴史」(講師・藤森明氏、館職員) (博)
- 1/25~2/10 第10回茅野市小中学生作品展・書写の部(283点出品) (美)
- 2/3 優良映画観賞会「タスマニア物語」(参加者700名) (博)
- 2/7・8 博物館活用指定学級「こわしてみよう教室(自転車)」(講師・館職員、協力・竹村自転車) (博)
- 2/21・27 博作館活用指定学級「粘土の飾作り」(講師・館職員、協力・守屋金一氏) (博)

茅野市の博物館だより 八ヶ岳通信 No.4

発行年月日 平成3年3月15日
編集・発行 茅野市八ヶ岳総合博物館
〒391-02 茅野市豊平6983番地
TEL. (0266) 73-0300
茅野市尖石考古館
〒391-02 茅野市豊平4734-132
TEL. (0266) 76-2270
茅野市美術館
〒391 茅野市玉川1500番地
TEL. (0266) 73-5440